

TEIKYO SPIRITS

帝京大学医学部附属病院 同窓生医療連携だより

2023/SPRING

[帝京スピリッツ]

Vol. 02



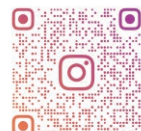
◆ 現場を支え挑戦を続ける輝く医師をご紹介します

- 内科学講座 血液グループ 講師
白崎 良輔先生
- 外科学講座 呼吸器外科 助教
出嶋 仁先生





帝京大学医学部 内科学講座 血液グループ 講師
白崎 良輔 しらさき りょうすけ (27期生)



TEIKYO_MED_HEMONC
 帝京大学血液内科
 公式Instagram

2003年 帝京大学医学部卒業、同医学部附属病院 初期臨床研修医
 2016年 Dana-Farber Cancer Institute (Harvard 大学のがんセンター) 研究員
 2021年より現職、および Dana-Farber Cancer Institute 客員研究員
 2017年～2020年 American Society of Hematology achievement award 受賞、他受賞歴多数。
 2022年「藤井儔子学術奨励賞」受賞。日本血液学会 多発性骨髄腫ガイドライン作成委員。
 『名医のいる病院 2023』多発性骨髄腫部門選出。



内科学講座血液グループ研究室のメンバーと一緒に

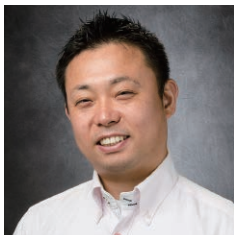
帝京大学医学部内科学講座 血液グループ 講師の白崎良輔と申します。今回、第2回帝京SPIRITSへ寄稿させていただくこととなり、非常に光栄に思います。
 私は帝京大学医学部を2003年に卒業した27期生であり、帝京大学医学部卒の色々な先生方に学生時代も含め、

現在もお世話になっております。退官された白藤尚毅教授や、卒業生のシンボルであった川杉和夫客員教授の下、当科で研鑽を積み重ねてきました。
 学生時代は、3年の東医体までサッカー部に所属しておりました。当時私には、学生時代の苦楽をともにした現在ライフサポートクリニック 院長山下悠毅と、帝京大学医学部附属溝口病院 眼科 石川敦がおり、毎試験、試験前日に十条のスカイラーク(当時)で1学年上の伊東岳峰先輩に教えていただき、何とか留年することなく通過していたのを思い出します。当時は帝京大学への思い入れは特にありませんでしたが、年月を経て現在は学内屈指の思い入れを自負しています。
 昨年、藤井儔子学術奨励賞をいただいたときに故藤井先生の『夢追い記』、『藤井儔子先生追悼集』、更には故冲永壮一総長の『ひたすらの道』を拝読しました。いずれも帝京愛にあふれており、帝京SPIRITSの原点に触れる思いでした。現在では医学部卒業生が5000人を超え、医業の中でも色々な業種に関わる方が出てきており、非常に豊富な人材が輩出される面白い学部であると考えます。
 当科は、現在感染症対策の観点もあり入院は25床を満床として稼働しております。臨床講座としては帝京大学医学部の卒業生で初めての女性准教授である田代晴子先生の下、スタッフ4名が後輩を指導しながら臨床、研究、教育を行っています。

血液内科は薬剤の進歩が非常に目覚ましく、特に以前は治療法が画一的であった急性骨髄性白血病や、私が専門としています多発性骨髄腫において、5年前と比較しても2年程度生存期間の延長が得られている事を実感します。特に高齢者急性骨髄性白血病に対するBCL2 inhibitorによる外来治療、多発性骨髄腫やリンパ腫におけるCAR-T療法など、凄まじい進歩を実感いたします。
 同時にこういった病気は、専門医以外が診る事が非常に困難であろうと思われれます。我々のキャンパシテイの問題はありますが、是非患者さんをご紹介いただけますと幸いです。特に私個人としては、多発性骨髄腫患者さんの紹介を心から望んでおります。疑った場合には、是非白崎良輔宛にご連絡いただけますよう、お願いいたします。



臨床講座の先生方と

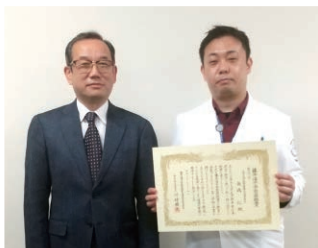


帝京大学医学部 外科学講座 呼吸器外科 助教
出嶋 仁 でじま ひとし (32期生)

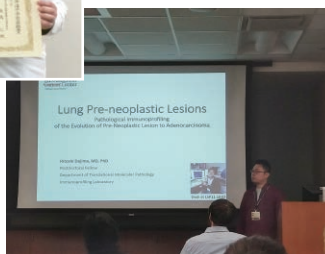
2008年 帝京大学医学部卒業、同医学部附属病院 初期臨床研修医
 2010年 公立昭和病院 外科・消化器外科 シニアレジデント
 2012年 帝京大学医学部附属病院 外科学講座 呼吸器外科 後期研修医
 2015年 愛知県がんセンター中央病院 呼吸器外科部 シニアレジデント
 2017年 同病院 遺伝子病理診断部 シニアレジデント
 2018年 The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Department of Translational Molecular Pathology, Postdoctoral fellow

2020年より現職

2021年同大学医学部の卒業生を対象にした、学術業績に優れた臨床医に贈られる名誉ある賞「藤井儁子学術奨励賞」を受賞。



川村雅文医学部長と



呼吸器外科坂尾幸則教授を囲んで

地域医療機関でご尽力されている先生方、他病院で胸部疾患にお困りの先生方からご紹介いただいた患者さんについては、可能な限り迅速に対応し、診療内容について遅滞なくご報告させていただきます。手術後も外来に通院していただいている患者さんにおいて、

連携も良好です。また、学術や教育にも力を入れており、単施設研究や多施設共同研究（主導）が多数進行中です。2021年度には、1年間で学会発表37件、論文16本の業績をあげています（スタッフ4人+レジデント3人）。当科では、助教以上のスタッフ全員が海外留学を経験しています。私自身も、2018年より2年間テキサスにあるMD Anderson Cancer Centerへ留学し、2年間で8編（筆頭1編、共著7編）の論文が掲載されました。

帝京大学医学部外科学講座 呼吸器外科 助教の出嶋仁と申します。私は帝京大学医学部卒業後、一般外科・消化器外科・救急医学の修練を行い、卒業後5年目より呼吸器外科を専門として現在に至ります。当科では年間200〜250件の全身麻酔手術を行っており、胸部腫瘍疾患に対する低侵襲手術（胸腔鏡手術、ロボット手術）から拡大手術（大血管や気管支の再建を伴う手術）まで幅広く対応しています。また、気胸や血胸、膿胸、胸部外傷などの救急疾患も積極的に受け入れを行っており、他科との連携も良好です。



趣味のフルコンタクト空手の大会にて

診察・検査を行ったときには、かかりつけの先生方へ毎回お手紙をお送りいたします。かかりつけの先生からお返事をいただく機会も多く、さらなる励みとなっております。また、趣味でフルコンタクト空手をやっております。NPO法人国際空手拳法連盟白蓮会館浦和支部に所属し、まだ初級ながら大会で優勝を経験したり、仕事以外の仲間と練習したりすることはとても楽しいものです。武蔵浦和、南浦和近隣の先生方はいかがでしょう？

胸部疾患でお困りの際、または呼吸器外科に興味のある後輩医師をご存知の際には、是非出嶋仁宛にご相談ください。今後ともよろしくお願いいたします。

帝京魂を受け継ぐ思い入れアイテム

『ひたすらの道 私と帝京の半世紀』 冲永荘一



白崎先生

今回、学生時代には思い入れがありませんでしたが、現在非常に思い入れが強い『ひたすらの道』の感想を書かせていただこうと思います。故冲永荘一総長の半生（51歳時に発刊）を綴った自伝となります。

古くは、帝京大学に入学すると皆にだけた物であったかと思えます。自分で買った訳ではない本を読むのは、中々にハードルの高いものでした。私も学生当時は全く興味を惹かれず、読もうと思った昨年に実家を含めて探してみました。どこにもなく、最終的には帝京大学医学総合図書館で『ひたすらの道』を借りました。

中身についてあまりネタバレはしたくないため、詳細は申し上げませんが、故冲永総長の戦後戦後の成功談は非常に読みごたえがあります。冲

永少年から青年へ、冲永医師から冲永学長へ、様々な困難を乗り越え、持前と思われる慎重さと大胆さ、先を見据えた予見により時代の波に乗り、最終的には医学部を設立するという夢を叶えるまでの道は、勉強になると同時にワクワクしました。

この本は、自分が学生の頃手に取ったとしても面白さは分からなかったかもしれませんが、今読むと自分のモチベーションに繋がりが、非常に良い本を書いてくださったと感じます。できればこの続き、人生を終えられるまでどのように過ごされたかも是非読みたいと感じさせてくれる本でした。

この本により「実学の帝京大学」という言葉は、元々比較的ネガティブな思考で始められた大学設営理念であったと解釈しました。しかし、この理念により帝京卒業生が誇りを持ち外に出て、評価を得続け「帝京生は働ける」という印象を作られたところも秀逸であったかと思えます。

帝京大学医学部は50周年となり、現在、世の中には様々な業種で活躍されている帝京大学医学部卒業生がおります。開業医の先生方を始めとし、大病院の院長の先生方、総合病院の先生方、大学病院の先生方、メディアを中心とされる方、更には研究者など、本当にダイバーシティに富んだ先生方が活躍しています。また、最近の学生は非常に真面目で、私の難解な授業も熱心に聞いてくれており、授業後には大量の質問が寄せられます。故冲永荘一総長が「存命であれば90歳となります。もし存命であれば帝京大学在学や卒業生を誇りに思い、このような状況を凄く楽しんでおられたのではないのでしょうか？」

今回『ひたすらの道』を読み、非常に勉強になりました。皆さんにも、是非読むことをお勧めしたいと思えます。

卒業時に表彰いただいた特別賞のボールペン



私は学生時代、6年間全ての授業で無遅刻無欠席、サッカー部の主将、国家試験対策委員会（多大学合同）の委員長、医学部学生委員会の委員長を務めました。

しかし、サッカー部は強くなく、勉強の成績がトップだったわけではなく、卒業年の帝京大学医師国家試験合格率は全国で最下位と、どれもいまひとつの結果でした。大学側が不憫に思い同情してくれたのでしょうか（笑）、大学卒業式後の謝恩会にて、当時の医学部長清水輝夫先生から「最も学年に貢献してくれた特別賞」と題した表彰をしていただきました。とても「自分らしい」賞だと今でも誇りに思っており、その時にいただいたボールペンは2008年3月の卒業以来いつも白衣のポケットに入れ、今も愛用しています。



出嶋先生

2023年 診療科別同窓生 在籍リスト (帝京大学医学部附属病院)

※講師以上の医師を掲載しています

内科	
血液内科	准教授 田代 晴子
	講師 白崎 良輔
腎臓内科	医局長 准教授 田村 好古
消化器内科	講師 阿部 浩一郎
呼吸器内科	講師 杉本 直也
リウマチ・膠原病内科	
医療共通教育研究センター	教授 菊地 弘敏

循環器内科	
	講師 紺野 久美子
	講師 渡 雄至
	講師 山本 裕貞

脳神経内科	
	講師 北國 圭一

外科	
肝胆膵外科	教授 三澤 健之
下部消化管外科	准教授 野澤 慶次郎
	講師 端山 軍

総合診療科	
	病院教授 佐川 俊世

産婦人科	
総合周産期母子医療センター長	
	病院教授 笹森 幸文
	講師 鎌田 英男
	講師 紀平 力
	医局長 講師 一瀬 隆行

小児科	
	講師 萩原 教文

メンタルヘルス科	
	病院准教授 赤羽 晃寿
	講師 渡邊 由香子

眼科	
	医療技術学部 教授 林 孝雄
	医療技術学部 准教授 金子 博行

整形外科	
	病院准教授 松田 健太
	教育学部 准教授 時崎 暢

皮膚科	
	講師 石川 武子
	講師 田中 隆光
	医局長 講師 林 耕太郎

麻酔科	
	病院准教授 原島 敏也
	病院准教授 柿沼 玲史

形成外科	
	講師 山岡 尚世

保険指導部	
	部長 吉原 久直

2022年12月1日現在 敬称略 順不同

TEIKYO SPIRITS

